

救急現場の今。

突然訪れる病気や事故。救急隊は、常に「その時」に備えています。

しかし、救急車の出動件数と現場までの到着時間は年々増加し続け、救急搬送に影響が出ています。

大切な命を守り、救える命を逃すことがないように！。

坂戸・鶴ヶ島消防組合の救急救命士に、救急現場の現状などを聞きました。

問合先 坂戸・鶴ヶ島消防組合 ☎ 281・3119

はじめに、救急救命士の業務内容を教えてください。

救急現場で、病気やケガなどの傷病者に対して、医師の指示のもと救命処置などの医療行為（特定行為）を行います。

主に、救急隊員3人が一つのチームとなって、傷病者を救急車で病院まで搬送します。

その間、呼吸や心臓が止まっている方に直接空気を入れる「気管挿管」や、「アドレナリンの投与」などを行います。最近では、低血糖発作の方に「ブドウ糖の投与」、出血などにより血圧が下がっている方に「ショック輸液の投与」もできるようになりました。

いずれも、病院への搬送中に手遅れになることがないように、その状況に応じて医師と連携し、処置を行っています。



あらいたくや
新井拓也さん

坂戸・鶴ヶ島消防組合で初の指導救命士。救急救命士の人材育成に力を入れ、救急隊全体のレベルアップに、日々尽力している。

す。
現在、私は救急救命士を育成する「指導救命士」として働いています。

指導救命士とはどのようなことを？

坂戸・鶴ヶ島消防組合では、平成30年から「指導救命士」制度を開始しました。

これは、指導救命士を中心とした教育体制を構築することで、専門的知識と技術の向上に向けた教育訓練内容を一層充実し、「救急活動の質を向上させる」ことを目的に設置しました。

「救急救命士や救急隊員の訓練・指導・教育」をはじめ、「救急活動の事後検証」などを行うことが主な仕事です。

指導救命士になるためには、救急隊長として5年以上の経験が必要です。

実際の業務内容を教えてください

現在は、8時30分からの24時間勤務です。途中で仮眠の時間があり、翌日が非番という体制です。出勤のない時間は、出勤に備えて待機をしています。通報がありしだい、すぐに現場に向かいます。

待機の時間は、救急救命士としての訓練や、指導救命士としての指導、ミーティング、救急車の整備、事務などを行っています。

救急隊としては、特定行為の訓練が主です。様々な救急現場を想定し、消防隊とも連携して訓練を行っています。

通報から救急現場に向かう間の救急車では何をしているのでしょうか？

まず、消防本部の指令センターから救急出動の指令が入ります。その内容に応じて、救急隊長が現場到着後の役割分担を指示します。すぐに対応できるように、十分な打ち合わせと準備を行っています。

通報内容はとても重要です。その内容によって、現場での活動方法を決定します。通報内容が「詳細不明」ということがよくあるのですが、その場合だと、事前に十分な準備ができないため、現場での対応に時間がかかってしまいます。

到着すると心臓・呼吸が止まっているという方もいますから、事前に情報が入っていても入っていれば、助けられたかもしれないということが実際にあります。

通報内容によっては、ドクターヘリ

やドクターカーを呼びます。重症の方や、緊急を要する方であれば、すぐに要請することもあります。

ドクターヘリは、市内でも離着陸をしているので、見たことがある方もいらっしゃると思います。市内だと、運動公園や近隣公園など、6か所の着陸ポイントがありますから、すぐにドクターヘリと連携して病院へ搬送することができます。

現場到着後は、想定外のことが多々ありますが、3人の救急隊と医師で情報を共有し、連携して臨機応変に対応しています。救急現場は、一人では対応することが難しいので、チームワークがとても大切です。

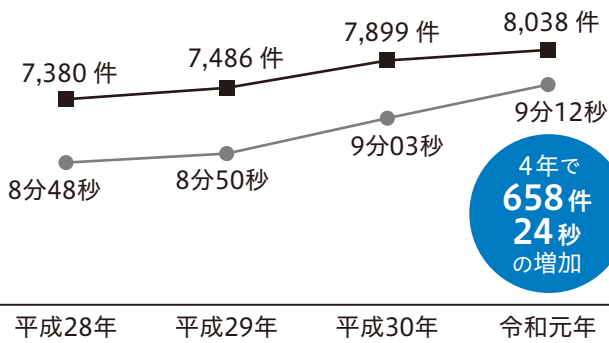
昔と比べて救急現場に変化を感じることはありますか？

医療機関の受け入れ体制が改善されたのが一番大きいですね。

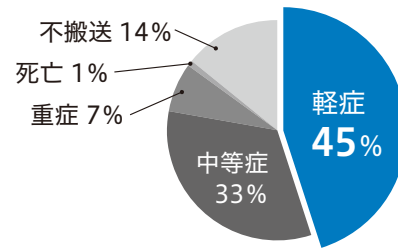
鶴ヶ島救急1



救急車の出動件数(■)と現場までの平均到着時間(●) 図②



傷病程度別の割合(令和元年) 図①



軽 症 → 入院加療の必要がないもの
 中等症 → 入院が必要で重症に至らないもの
 重 症 → 3週間以上の入院加療が必要なもの

以前は10件断られたこともありましたが、かなり良くなっていると思います。今は4件以上連絡することは、ほとんどないですね。

テレビでは、10件以上断られたなんていうケースもあるようですが、現在はスムーズに医療機関につなげることができています。現場での滞在時間も以前よりだいぶ短くなっています。

これは、医療機関の方々が救急に理解があり、受け入れていただいていることによるものです。

鶴ヶ島地域で言えば、関越病院や坂戸中央病院がそうです。他の地域では、川越市にある川越救急クリニックと、狭山市にある埼玉石心会病院は、ほぼ受け入れてくれます。何件か断られて連絡すると、「いいですよ」って何とかしてくれるんですね。そのような医療機関が近くにあることがとても大きいですし、助かっています。

また、場所にも恵まれています。埼玉医科大学病院が、川越市・日高市・毛呂山町にあります。鶴ヶ島市はちょうど真ん中に位置していますから、どこにでも行けます。

鶴ヶ島市は、全国でも埼玉県内でも、とても恵まれているところだと思います。

通報内容に変化はあまり感じませんが、通報件数は増えていますね。新型コロナウイルスの影響もあり、今一番多いのが発熱ですが、それ以外に問題となっている増加要因があります。これは悪化していると考えています。

どのような問題があるのでしょうか？

救急車の必要がない軽症者からの通報があることです(図①)。医師の診断の結果、軽症だったということとは別ですが、通報の時点で明らかに軽症の方がいらっしやいます。

また、中には『救急車をタクシー代わり』にする方や、『救急車なら待たずに診てもらえる』などの誤った認識を持った方もいて、本当に救急車を必要とする方の搬送に、支障を来しているのが現状です。

具体的な例で言うと、
 ・入院予定なので宿泊セットを用意している
 ・タクシーだとお金がかかる
 ・熱があり保健所が対応してくれない
 ・新型コロナウイルスの疑いがあり、



救急車は限りある資源です

適正な利用をお願いします

タクシーで行くと運転者が感染してしまうかもしれない
 ・酔って寝ている(周りの方の通報)
 ・病院に連絡をしたが断られたので、救急車なら受け入れてくれると思って
 などがあります。

通報から現場到着までは、平均9分12秒(令和元年)で、年々遅くなっています(図②)。通報場所によりですが、出動が重なっている場合、到着まで遅延してしまうことがあります。

現在、救急車5台と予備車に対応していますが、近隣の消防本部の救急車が出動するケースもあるのが現状です。

救急車は、病気やケガなどから皆さんの生命を守るため、限られた台数を最大限に活用して、昼夜問わず出動しています。

すべての出動で完全防護です！ コロナ感染疑いの有無は関係ありません！



現在、感染の疑いの有無に関わらず、すべての救急出動で、感染防護衣、手袋、ゴーグル、ウィルスを防ぐ高性能マスクなどを着用し、「完全防護」をしています。

新型コロナウイルスは、無症状の症例がありますので、発熱などの症状だけでは判断できません。

もしも、傷病者が後で新型コロナウイルス感染者だと分かると、救急に行った隊員は次の日もウィルスを持つまま出動してしまうことになりますので、感染を拡大させてしまう可能性があります。

現在、交通事故の通報、通常の急病の通報など、どのような通報でも、万全な格好で現場に向かっています。

完全防護姿をした救急隊の活動現場を見た方は、「搬送された人はコロナなんじゃないか」と誤解しないでください。

皆さんに感染させないために、どのような状況でも『常に完全防護の格好をしている』ということを知っていただき、また、ウィルスの付着を防ぐため、

救急車や救急医療は限りある資源です。本当に必要な方への一刻も早い処置・搬送が求められますから、救える命が救えなくなることを、皆さん一人ひとりが意識し、適正な利用に心掛けていただきたいと思います。

本当に必要な緊急時には、一秒でも早く通報してください。

新型コロナウイルスへの対応は、どのようなことを？

けでは判断できません。

もしも、傷病者が後で新型コロナウイルス感染者だと分かると、救急に行った隊員は次の日もウィルスを持つまま出動してしまうことになりますので、感染を拡大させてしまう可能性があります。

現在、交通事故の通報、通常の急病の通報など、どのような通報でも、万全な格好で現場に向かっています。

完全防護姿をした救急隊の活動現場を見た方は、「搬送された人はコロナなんじゃないか」と誤解しないでください。

皆さんに感染させないために、どのような状況でも『常に完全防護の格好をしている』ということを知っていただき、また、ウィルスの付着を防ぐため、

こんなときは 『すぐに119番』



- ・意識が無い、返事が無い
- ・呼吸、脈拍が感じられない
- ・呼吸が困難
- ・顔色が悪く冷や汗をかいている
- ・激しい胸痛・頭痛・腹痛がする
- ・やけどの範囲が広い
- ・頭を打ち、意識がおかしい
- ・骨が折れているようだ
- ・けいれんが続いている など



ビニール製カーテンで覆った救急車内

救急車内をビニール製カーテンで覆い、感染源にならないよう感染防止にも努めています。当分の間は、皆さんを安全に病院まで搬送できるように取り組みを継続していきますので、ご理解いただければと思います。

救急隊から新型コロナウイルスの感染を拡大させてしまうことが無いよう

こんなときは 『近くの医療機関へ』



- ・風邪をひいた
- ・微熱がある
- ・腰が痛む
- ・足をひねった
- ・軽い手や指の傷 など

に、また、隊員が休むことになり救急が停止してしまうことがないように、これからも細心の注意を払っていきます。

また、感染症は本来、感染症法に基づき、都道府県の対応となりますが、埼玉県と協定を締結しており、保健所からの依頼により救急搬送しています。今後も連携した対応で、皆さんの安心と安全を守っていききたいと思えます。

適正利用以外にも、皆さんにお願いしたいことはありますか

一つ目は、救急車で搬送する際、ご家族の同乗をお願いします。病院で緊急手術となった場合、ご家族の同意が必要です。受付もスムーズに行うこと



受診に迷ったら

■埼玉県救急電話相談 # 7119(大人・小児)
急な病気やケガの際に、家庭での対処方法や医療機関への受診の必要性について、24時間、365日、看護師が電話で相談に応じます。



■埼玉県AI救急相談

チャット形式のフリー入力で相談した内容をもとに、可能性のある症状をご案内します。



■全国版救急受診アプリ「Q助」^{きゅーすけ}

該当する症状および症候を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な対応が表示されます。その後、医療機関の検索や、受診手段の検索を行うことができます。



公式YouTube



坂戸・鶴ヶ島消防組合では、消防・救急の業務などを知っていただくため、動画共有サイト「YouTube」で公式チャンネルを開設しています。
「オンライン救急講習」の動画もありますので、ぜひご覧ください。

「坂戸鶴ヶ島消防 YouTube」で検索
チャンネル登録をお願いします！



ができますので、病院での処置の迅速化が図れます。実際には「車で追います」ということが多く、処置がすぐにできないことがあり、困っています。

二つ目は、一人暮らしの方や、ご家族が現場にいない場合、ご家族に病院に来ていただくかの確認をするため、連絡をします。「連絡しないで」という返事が多くあり、その後の処置に影響しますので、ご対応いただければと思います。

三つ目は、救急車に乗車される方は、新型コロナウイルス感染防止のため、マスク着用をお願いします。

四つ目は、搬送先の病院を指定される方がいらっしやいます。希望どおりの病院への搬送となると、搬送先の病

院がパンクしてしまいます。救急隊が観察し、対応できる病院を選択します。症状によっては搬送しないこともありますので、ご理解ください。

五つ目は、消防組合が行っている救命講習の受講をお願いします。通報から救急車到着までの間、何かしらの処置をすれば、何もしないときと比べて、傷病者の回復が全く違います。胸骨圧迫や人工呼吸、AEDで回復する方もいらっしやいます。

今は、新型コロナウイルスの関係で、全ての講習を中止していますが、再開した際には、ぜひ消防組合まで相談いただければと思います。

皆さんの協力により、救える命を増やすことにつながります。

指導救命士としてのこれからの意気込みを教えてください

皆さんの生命・身体を守るため、目の前の命を救うため、救急救命士を含む救急隊員の知識・技術の維持と向上に努めて、これからも教育を継続していきます。

一刻も早い病院搬送も重要ですが、傷病者の苦痛の軽減や、ご家族の不安に寄り添い、親身に対応することも救急活動と考えています。

コロナ禍でも安心して過ごせる地域になるよう、これからも励んで参りますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

近年、救急車の出動件数が増えており、現場までの到着時間も遅くなっています。

また、搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症という現状もあります。

不要不急の通報の増加は、救急体制の維持を危うくします。

では、「救急車を呼ぶべきなのか」と通報に迷い、ためらわないためには――。

いざというときの知識と関心を持ち、日頃から備えておくことが必要です。

命を脅かす病気や事故は、いつ自分や大切な人に起こるか分かりません。

救急が必要なとき、必要な人へ――。

考え、行動するのは、私たち一人ひとりです。

救急車を呼ぶときは **119番** 落ち着いて、はっきりと、正確に

市外局番は必要ありません。ファクシミリの場合も局番なしでダイヤルしてください。
携帯電話で通報する際は、位置情報サービス(GPS)をオンにしてください。

こんなことを聞かれます

☐ 火事ですか？救急ですか？

救急です

まず「救急です」と伝えてください。

☐ 住所(場所)はどちらですか？

住所(または目印) _____

住所が分からないときは、近くの大きな建物、交差点など目印になるものを伝えてください。

☐ どうされましたか？

誰が _____

どのように(病気、ケガ、交通事故など) _____

誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に伝えてください。また、分かる範囲で意識、呼吸の有無などを伝えてください。

どうなった _____

☐ おいくつの方ですか？

年齢 _____ 歳です

具合の悪い方の年齢を伝えてください。分からないときは、「60代」のように、おおよそで構いません。

☐ あなたのお名前と連絡先を教えてください

名前 _____

連絡先 _____

お名前と通報後も連絡可能な電話番号を伝えてください。場所が不明なときなどに問い合わせることがあります。

※ 一般的な聞き取り内容です

救急車を呼んだら準備してください

- ・保険証 ・かかりつけ医の診察券
- ・靴 ・普段飲んでいる薬
- ・おくすり手帳 ・お金

乳幼児の場合はさらに

- ・母子健康手帳 ・紙おむつ
- ・ほ乳瓶 ・タオル



救急車が来たら伝えてください

- ・事故の状況や体調が悪くなってから救急車が到着するまでの様子やその変化
- ・おこなった応急手当の内容
- ・具合の悪い方の情報(持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示など)

持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日頃からメモにまとめておくとう便利です。



知っておくと安心な連絡先

緊急連絡先 ☎ _____ ☎ _____

救急指定病院 関越病院 ☎285・3161 ※ 詳しくは27ページ

坂戸中央病院 ☎283・0019

埼玉医科大学病院 ☎276・1465

休日急患診療 坂戸鶴ヶ島医師会立休日急患診療所 ☎289・1199

(内科・小児科) ※ 詳しくは27ページ

タクシー会社 ☎ _____ ☎ _____

AEDの設置場所

市内の25施設でAEDを屋外設置しています。緊急時にはいつでも利用できます。「いざ」というための、場所の事前確認をお願いします。

市HP
「市内公共施設のAED」

